

# OUTLINE of PROGRAM

## [研修プログラム紹介]

# 小児科医育成プログラム

2027年度定員 2名(予定)

定員およびプログラムの詳細はホームページでご確認ください



▶▶▶ 2年間で慶應義塾大学病院で研修する、小児科医を目指す人のためのプログラムです。

※2年次のローテーションは順不同

1年次	小児科 (8週)	麻酔科 (8週)	救急科 (8週)	内科 (24週)			
2年次	地域 (一般外来・在宅医療を含む: 4週)	小児科 (4週)	NICU (4週)	小児外科 (4週)	精神科 (4週)	産婦人科 (4週)	選択 (24週)

研修は小児科からスタート

大学外での研修も可能

- 麻酔科・救急科 1年次の救急科12週のうち8週を救急科研修、4週を麻酔科での救急部門の研修とします(本プログラムについては、更に麻酔科を+4週としています)。
  - 一般外来 一般外来研修は、内科(総合診療科を含む)、小児科(慶應義塾大学病院でのみ)、外科および地域医療で4週間以上行います。
  - 病院長から特別な許可を得て、合計最大で3か月まで大学以外の施設(東京都小児総合医療センター、川崎市立川崎病院、さいたま市立病院(小児科、NICU)など)での研修も可能です。
- 二葉乳児院や島田療育センターの子どもを通じて社会情勢を学ぶ事も可能です。



都立小児総合医療センター

\*当院の研修は休診日、GW、年末年始等を考慮し、1年を48週換算した週数にて研修を行います(4週は調整期間)。

## MESSAGE from CENTER STAFF

### 臨床能力に加えて豊かな人間性や科学的探究心を持つ小児科医を育成します

厚生労働省が定めた医師臨床研修制度の基本理念を基に、将来の小児科医を育成するために子どもに関わる診療科を重点的に研修するために組まれたプログラムです。

当院の小児科・NICUを中心としながら、小児外科・産科、さらには自由選択で連携施設である市中病院の小児科・NICUで研修する事で、子どもに関連する幅広い疾患を経験することが出来ます。

小児科研修のみならず、内科・外科研修・地域医療研修を通じて数多くの患者さんに接し、診療する事で、医師として必要

な基本的臨床能力を身につけるだけでなく、その人格をかん養し、科学的探究心を持ち続けられる人材を育成する事を目指しています。

子どもを治す事に喜びを感じ、自分自身も成長し続けたいと考えている方には最適の環境です。皆様にとって、ロールモデルとなる小児科医とも出会えると思います。是非、慶應義塾大学病院小児科医育成プログラムに入り共に学んでいきましょう。



[プログラム責任者]  
卒業臨床研修センター  
有光 威志

## MESSAGE 03

### [研修医からのメッセージ]

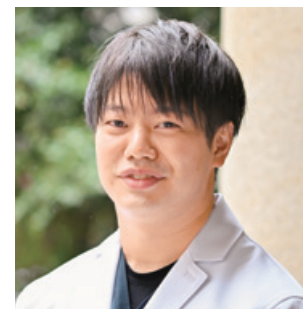
### 臨床力と人間性を育てる、慶應の小児科医育成プログラム。

慶應病院の小児科医育成プログラムでは、血液、心臓、PICU、NICU、精神保健など幅広い専門分野で最先端の医療を学び、将来を見据えた研修が可能です。小児科に加え、早期から麻酔科や救急科で基本手技を習得でき、研修の土台を早い段階で築ける点も特徴です。さらに、東京都立小児総合医療センターなどの関連施設を研修先として選択でき、重症例・難治性疾患から一般的な疾患まで幅広く対応する力を高められます。

同期や指導医の先生方は温かく、各科に優れたロールモデルがいます。仲間と切磋琢磨しながら、

医師としてだけでなく人としても成長できる環境が整っています。

慶應義塾大学病院は、将来を見据えた充実した研修を通じて臨床力と人間性の双方を育てる場所です。ぜひ一度見学にお越しください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



2025年度  
小児科医育成プログラム  
田中 充  
(2年間、慶應義塾大学病院)